

連 絡 先  
厚生労働省雇用均等・児童家庭局  
育成環境課 今泉（内線7912）

平成15年3月31日

## 子育てコストに関する調査研究

財団法人こども未来財団が平成14年度児童環境づくり等総合調査研究事業において実施した標記がとりまとめられましたので、ご参考までに配布いたします。

## 照会先

財団法人こども未来財団 事業振興部  
長渡 TEL 03-5550-9467

平成15年3月31日

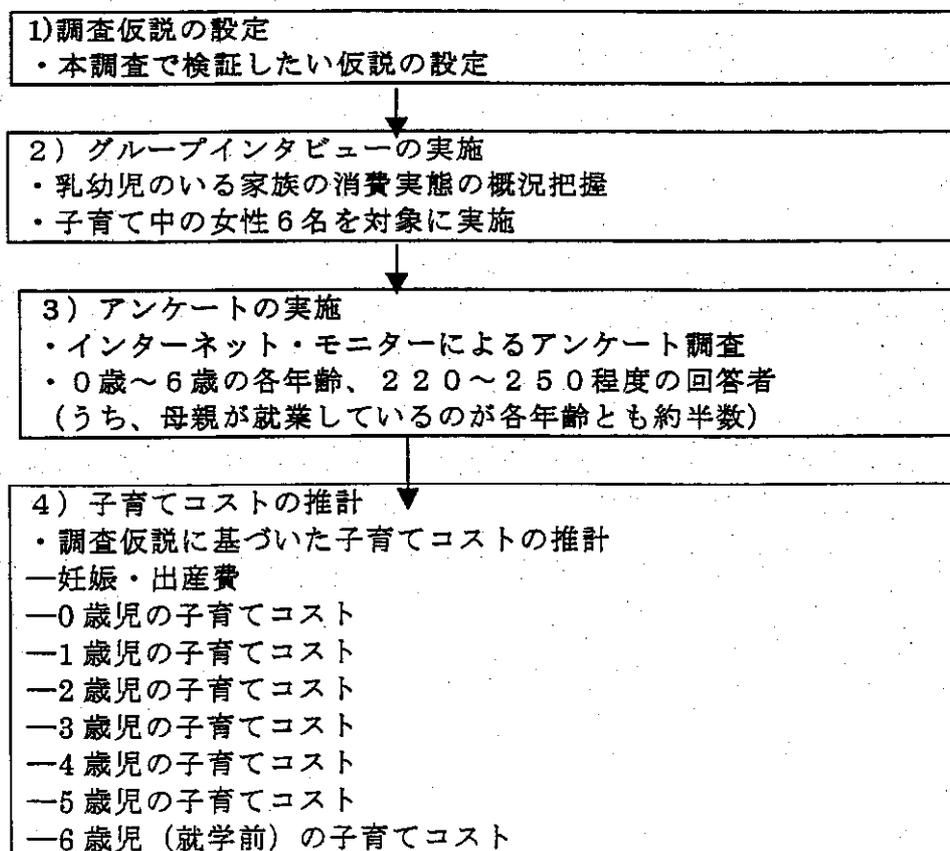
各 位

### 子育てコストに関する調査研究

少子化の背景要因の一つとして「子育てコスト」が挙げられますが、こども未来財団ではその実態を小学校就学前乳幼児期の子育てコストに焦点を絞り、費用負担の調査分析をし、この度次のとおり取りまとめました。添付しました「子育てコストに関する調査研究」(概要版)と併せてご覧ください。

#### ①実施内容・方法

本調査の進め方のフローは次の通りである。



## ②結果

0歳児の平均的な子育てコストの年間総額は、約50万6千円、妊娠・出産コストの平均金額は、約50万4千円である。妊娠・出産と0歳児の子育てコストを合計すると、約100万円の支出となる。

図表 0歳児の子育てコスト

費目	平均額(円)
ベビー用品・衣料	198,602
家具・寝具類	23,268
生活用品・器具、消耗品	100,087
衣類	75,247
育児費	132,918
食費、おやつ	57,042
保育園費	12,932
延長保育・夜間保育費	1,423
ベビーシッター・一時保育費	3,743
その他保育	322
保健・医療費	38,830
保健・医療機関窓口での支払額	17,181
保健・医療機関等までの交通費	14,232
薬局・薬店等で購入した医薬品類	7,417
教育・娯楽品費(玩具・CD等)	18,626
お祝い行事関係費	72,723
子育てのための預貯金・保険	101,765
合計	506,007

図表 妊娠・出産コスト

費目	平均額(円)
出産費	484,833
定期検診(交通費を含む)	90,215
分娩・入院	364,618
妊娠期間中の出産準備費	48,849
妊婦用品・衣料等	25,215
妊娠中の運動・学習等	6,480
妊娠中の家事・育児補助関連	6,201
胎教用品・教室等	600
里帰り出産	7,965
妊娠・出産前後の交通費	2,388
合計	503,683

1歳～3歳の子育てコストは50万円前後、4歳～6歳の子育てコストは65万円前後となっている。1～6歳の子育てコストの平均額を合計すると、約340万円である。

図 1歳～6歳児の子育てコスト

費目	平均額(円)						
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	1～6歳合計
育児費	80,499	79,756	104,739	105,935	121,083	109,770	601,881
食費、おやつ(給食以外)	56,338	60,128	87,004	67,640	91,013	83,098	445,221
保健・医療費	24,161	19,628	17,734	38,195	30,070	26,672	156,460
保健・医療機関窓口での支払額	14,919	12,899	12,504	31,886	19,071	18,505	109,584
保健・医療機関等までの交通費	2,909	2,705	2,074	2,213	5,615	3,073	18,589
薬局・薬店等で購入した医薬品類	6,333	4,224	3,156	4,096	5,384	5,094	28,287
子ども用品・衣料費	122,633	116,489	89,642	80,855	76,542	66,915	573,236
衣類	41,890	36,041	40,004	42,123	42,347	39,779	242,184
生活用品・器具、消耗品、家具類	55,914	35,886	23,554	12,798	10,582	13,554	152,288
おもちゃ・遊び道具類	22,819	40,518	18,333	20,089	18,271	21,815	141,845
文具・学習用品類	2,010	3,014	3,941	5,845	8,342	13,967	37,119
幼稚園・保育園関係費	90,189	97,192	155,617	256,670	277,246	249,732	1,128,645
幼稚園・保育園費用	82,091	81,183	144,487	254,262	271,204	243,336	1,076,563
延長保育・夜間保育費	1,121	2,802	3,305	3,604	4,775	4,599	20,208
ベビーシッター・一時保育費	4,715	12,046	7,032	991	1,152	1,750	27,686
その他保育	2,281	1,161	793	13	215	47	4,490
幼稚園・保育園以外での教育費	21,387	81,464	42,755	36,228	46,241	66,519	286,393
習い事、おけいこ	2,771	8,839	24,031	26,836	39,848	44,921	147,248
家庭教育用品・通信教育費	18,486	52,521	18,471	12,298	7,942	10,288	120,004
子ども会・体験活動・地域活動	110	124	253	92	451	108	1,138
おこづかい	29	14	0	306	1,061	1,499	2,909
お祝い行事関係費	26,144	23,612	29,910	36,771	36,457	31,423	175,517
子育てのための預貯金・保険	120,914	137,326	97,446	104,447	101,598	97,360	659,121
合計	484,774	514,841	516,308	620,316	659,349	634,241	3,409,826

注:表中の「1～6歳合計」とは、1歳から6歳のそれぞれの平均額を合計したものである。  
以降のグラフでも同義である。

### ③考察

本調査では、以下の9つの仮説を設定し分析した結果、いずれの仮説も概ね支持されることが確認できた。

#### 乳幼児期の子育てコストの総額（年齢別）に関する調査仮説

- 仮説1：子どもの年齢によって、子育てコストの総額は異なる。
- 仮説2：第1子と第2子以降では、子育てコストの総額は異なる。
- 仮説3：所得水準によって子育てコストの総額は異なる。
- 仮説4：祖父母との同居・隣居の有無によって、子育てコストの総額は異なる。

#### 乳幼児期の子育てコストの構造（内訳）に関する調査仮説

- 仮説5：第1子と比べて、第2子以降では割安になる費目がある。
- 仮説6：就労状態やサービス主体の種別によって、保育や幼稚園のコストが大きく異なる。
- 仮説7：所得水準、祖父母との同居・隣居の有無によって、コストが異なる費目がある。

#### 乳幼児期の子育てコストの負担負担に関する調査仮説

- 仮説8：所得に占める子育てコストの割合は所得水準によらず一定の幅におさまる。
- 仮説9：所得に占める子育てコストの割合は第1子出産年齢によらず一定の幅におさまる。

注：子育てコスト、所得はいずれも年間金額、所得は世帯年収である。

### ④まとめ

本調査の結果、子育てコストが比較的高くなる要因として、次の4点が挙げられる。

- 第1子であること
- 祖父母と同居・隣居していないこと
- 母親が就労しており保育サービスを利用していること
- 私立の保育園や幼稚園に通っていること

中でも、乳幼児の子育てコストの中で保育園・幼稚園関連費が占める割合が高く、ここにかかるコストの大小が子育てコスト全体に与える影響は大きい。また、所得に対する子育てコストの負担割合でみると、所得水準400万円前後の世帯、出産年齢の若い世帯の負担率が高めであることが分かった。

以上の結果は、保育サービスの充実、所得水準に応じた経済的支援の必要性を示すものであり、現在の政策の方向と一致していることが確認された。今後は、乳幼児世帯に支給されている各種助成等による経済的負担の軽減効果や少子化への影響効果などを把握・分析し、よりよい子育て支援の条件整備を進めることが課題である。